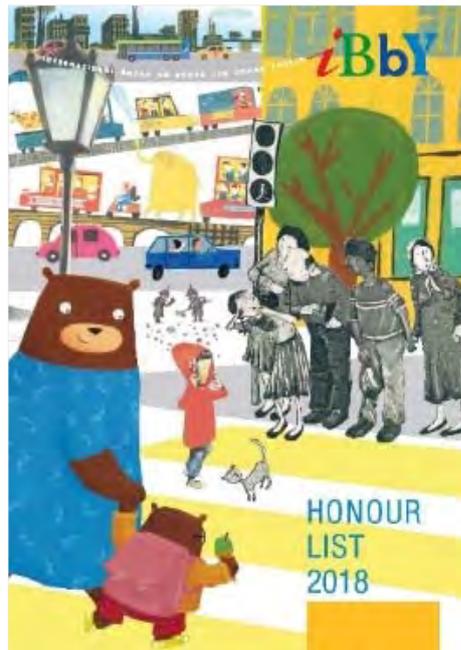




国際子ども図書館展示会
「世界をつなぐ子どもの本—2018年国際アンデルセン賞・
IBBY オナーリスト図書展」の開催について



※画像：IBBY Honour List 2018 より ©International Board on Books for Young People (IBBY), 2018

国立国会図書館国際子ども図書館は、8月6日（火）から展示会を開催します。

この展示会では、2018年の国際アンデルセン賞受賞者のこれまでの諸作品、IBBY（国際児童図書評議会）オナーリスト（推薦図書リスト）の掲載作品とその邦訳書、あわせて約200冊を直接手に取ってご覧いただけます。この機会に是非、世界各国の子どもの本をじっくりとお楽しみください。

【お問合せ先】国立国会図書館 国際子ども図書館 企画協力課 03-3827-2041(直通)

【展示会開催概要】

会 期	2019（令和元）年8月6日（火）～9月8日（日）
開 館 時 間	9時30分～17時
休 館 日	月曜日、国民の祝日・休日、8月21日（水）
会 場	国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2019-02.html



展示を理解するためのポイント

① IBBY とは

IBBY(The International Board on Books for Young People : 国際児童図書評議会) は、1953 年、子どもの本を通して国際理解を促進する目的で創設されました。現在は 70 以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。

② 国際アンデルセン賞とは

1956 年に始まった国際的な児童文学賞で、IBBY から 2 年に 1 度、児童書分野で卓越した業績をあげた現存の作家および画家に贈られます。2018 年は、日本の角野栄子氏が作家賞を、ロシアのイーゴリ・オレイニコフ氏が画家賞を受賞しました。

③ IBBY オナーリストとは

IBBY が隔年で作成する推薦図書リストです。作成に当たっては、IBBY の各国支部が、自国で新たに出版された児童書の中から外国に紹介したい作品を選ぶことになっています。「文学作品」、「イラストレーション作品」、「翻訳作品」の 3 部門から成り、2018 年は世界の 61 の国と地域から 191 作品が選ばれました。

【日本からの選出作品】

◆文学作品部門

古内一絵 作『フラダン』

小峰書店, 2016.9

◆イラストレーション作品部門

スズキコージ 画『ドームがたり』

玉川大学出版部, 2017.3

◆翻訳作品部門

母袋夏生 編訳『お静かに、父が昼寝してあります : ユダヤの民話』

岩波書店, 2015.12

【前回の展示会写真】



※国際子ども図書館では 2008 年以降、2009 年からは隔年で、この「国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト図書展」を開催しています。

※この展示会は IBBY の日本支部である JBBY(日本国際児童図書評議会)から展示資料の貸与を受け、実施しています。展示の内容については、JBBY ホームページもあわせてご確認ください。

<http://jbby.org/>